

# 市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



平成21年度、総務・文教福祉・生活産業・建設水道の4つの常任委員会では、所管事務について調査研究をし、その結果を次年度以降の施策等に反映されるよう1月15日(金)に市長へ提言しました。提言の詳細は2P～3Pに記載のとおりです。

## 12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月30日から12月24日までの25日間の日程で開催されました。本定例会では、平成21年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)についてなど議案37件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び採決の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書など請願第6号から第8号までは不採択となり、自主的な共済制度を保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求める請願第9号は採択されました。また委員会発議として提案された自主的な共済制度を保険業法の適用除外とする意見書は原案のとおり可決され、国等の関係機関へ送付し、その実現について要望しました。なお「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書」の議員発議案は、関連する請願が不採択となったため取り下げされました。

### 主な内容

平成21年度議会からの提言	2～3P
委員会活動状況	4P
議会の動き	4P
一般質問	5～9P
12月定例会議決一覧	10P
2・3月の会議日程	10P

### 議員からの寄付は禁止されています

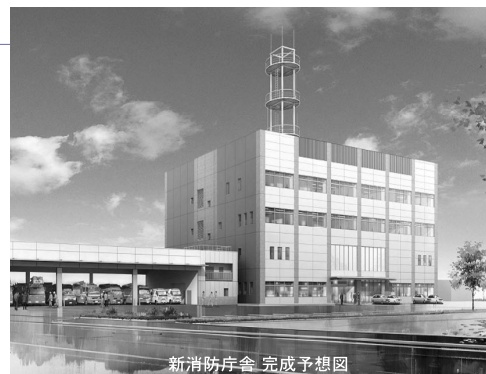
議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をするのは、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 総務委員会

### (1) 消防施策について

消防施策推進の中心的な拠点となる新消防庁舎については、以下の点に留意して整備を進めること。

- ①機能的な消防・災害活動が可能で堅牢な構造とすること。
- ②職場環境や省エネなどの環境面にも配慮したものとする。
- ③市本庁舎と色彩などを統一感のあるものとする。
- ④デジタル無線化を考慮したものとする。
- ⑤独立した訓練棟の整備についても検討すること。



### (2) 監査の充実強化について

監査を充実強化するため、現在の監査委員による内部的な監査だけではなく、必要に応じて外部監査制度を積極的に導入することを検討すること。

## 文教福祉委員会

### (1) 学校支援地域本部事業について

- ①現在、5中学校区を中心に事業が展開されているが、その取組の中で課題を明らかにするとともに、成果のあることを積極的に発信し、他の学校区にもこの事業を拡大すること。
- ②学習ボランティア、安全安心ボランティア、環境整備ボランティアなどについては、市内一律ではなく、校種・地域の実態に応じた多様な支援活動を進めていくこと。
- ③現在、市では街づくりの活性化にむけ、地域づくり活動を進めているが、当該事業や公民館活動等との連携がとれないか検討すること。
- ④地域の教育力を学校支援に活用できるよう事務分担の整理をして連携に努めること。

### (2) 図書館事業について

- ①時代に相応した市民ニーズの把握をした上で、鈴鹿市の図書館のあり方を検討し、短期的及び中長期的な全域サービス計画をたてること。
- ②鈴鹿市の文化・知の拠点、情報発信の基地となるべく、将来を見越した図書整備・各地域の蔵書の充実をはかること。
- ③図書館費予算の拡充を図ること。



## 生活産業委員会

### (1) 災害対策について

災害対策について、防災無線の整備にあたっては、昨今の厳しい財政状況等を考慮に入れ、デジタルMCA方式等の利用についても再度検討したうえで、市民の安全・安心を第一とした有効なシステムを導入すること。

## (2) 環境政策について

- ①地球温暖化防止施策をはじめとする環境政策については、行政のみならず、各種団体によって構成される地球温暖化対策地域協議会等を組織し、それによる包括的な取組みを検討すること。
- ②環境政策を推進するにあたっては、環境関連産業の取組みを支援するなど、産業政策との連携により、総合的な視点での調整を図ること。

## (3) モータースポーツと地域活性化について

今年度のF1日本グランプリの開催結果を検証し、次年度以降の連続開催に向け取組むこと。また、F1以外の各種モータースポーツの振興も含めて、行政が関わる方向性を明確にすること。

## (4) 交通安全について

交通事故の未然防止のため、運転マナーや技術の習得等について、鈴鹿サーキット交通教育センター等の教育研修機関の周知に努めること。

# 建設水道委員会

## (1) 駅前整備と周辺区域の活性化について

- ①駅前整備は現在白子駅前広場整備事業が進行中であるが、市民及び周辺住民の理解と協力を得ながら、早期着工に努めることが望まれる。また、鈴鹿市の玄関口としてふさわしい交通ターミナル機能、広場機能、市民の交流・憩いの場としての機能を備え、利用する人すべてに優しい駅前広場及び周辺区域の整備に取り組むことが望まれる。
- ②将来的には、神戸・白子・平田と3つにわかれている鈴鹿市にとっては、富山市のような団子方式の利用も一つの有効な手段であると思われる。3つの拠点をそれぞれ団子とし、それらを串として結ぶ公共交通網の整備を検討することが望まれる。また、拠点と拠点を結ぶ沿線に人口を集中させるような施策を検討することが望まれる。

## (2) 上下水道のあり方とビジョンの策定について

- ①鈴鹿市水道ビジョンについては、今後市民の意見を広く聴取し、必要であればビジョンの見直しを検討することが望まれる。そのためには市民の意見を広く聴取できる制度づくりの検討が望まれる。
- ②上水道事業のあり方としては、環境負荷の軽減を目的とし、小水力発電や太陽光発電の導入を検討することが望まれる。
- ③下水道ビジョンの策定については、三重県の流域別下水道整備総合計画との整合性を図りつつ、下水道ビジョンの策定を検討することが望まれる。
- ④下水道のあり方については、生活排水処理に関して、公共下水道のさらなる整備に取り組むと共に、合併処理浄化槽による生活排水処理等公共下水道に限らない様々な効率的な手法を検討することが望まれる。

## (3) 新名神高速道路の取組みについて

市民及び地元自治会の意向を尊重すること。また、スマートインターチェンジの設置等、地域交通網の整備による渋滞緩和効果及び地域活性化による経済効果の両面から促進するよう働きかけ、早期着工に着手することが望まれる。なお、建設予定地は優良なお茶の産地であるため、農作物への影響を十分に調査することが望まれる。



# 委員会活動状況

総務・文教福祉・生活産業・建設水道・予算決算(分科会を含む)の各常任委員会では、12月定例会にて付託された議案・請願の審査等を行いました。また、議会運営委員会では議会運営についての行政視察を実施しました。

## 総務委員会(分科会)

議案第76号ほか2件を審査した。議案第76号及び議案第77号では、今回の給与等の条例改正に伴う金額や適用期間、人事院勧告や組合との協議の関係などを尋ねる質疑等があり、議案第78号では、時間外勤務や適正な定員管理の考え方、消防協会からの助成金を活用して実施する事業の内容などを尋ねる質疑等があったが、採決の結果、全議案とも原案可決すべきものとされた。請願については請願第6号及び請願第9号は採択すべきものとなり、請願第9号に関する意見書を委員会発議案第2号として提案することとなった。

## 文教福祉委員会(分科会)

議案第78号ほか14件を審査した。議案第91号では河曲保育所の管理運営を問う質疑、指定管理者の指定についての議案では、公募施設の指定については、3業者で1グループ体となって公募してきたが、妥当なことと思っているのか、なぜグループ体として管理運営するのか、責任の主体はどこになるのかなどの質疑や、非公募施設の指定については、実情把握をするためにも鈴鹿市はモニタリングをすべきであるがどのように考えるかという質疑があったが、採決の結果、全議案とも原案可決すべきものとされた。

## 生活産業委員会(分科会)

議案第78号ほか17件を審査した。議案第78号の補正予算では、防災ハザードマップ情報システムの整備事業費について、その活用する方法などを尋ねる質疑等があった。また、議案第92号を初めとする指定管理者の指定の案件については、指定管理者の選定過程において、サービスの向上とコスト削減が同時に達成されている点が評価されているが、働く人の労働条件等が犠牲にされていないのかなどの質疑が出されたが、採決の結果、全議案とも原案可決すべきものとされた。また、請願第7号及び請願第8号の請願については不採択すべきものとなった。

## 建設水道委員会(分科会)

12月定例会では議案第78号ほか3件について審査した。公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の制定については、条例の文言について分担金を市長が定める相当額といった表記に変更できるのか等の質議があったが、採決の結果、全議案とも原案可決すべきものとされた。

## 予算決算委員会

12月定例会では議案第78号ほか4件の補正予算について、各4分科会から報告がされ、採決の結果、原案可決すべきものとされた。

## 議会運営委員会

平成21年11月に栃木市議会及び会津若松市議会へ議会基本条例に基づく議会運営などについて行政視察を実施した。

## 議会の動き(議長・副議長の公務等)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

10月	
4日	第35回彫型画展表彰式(議長)
7日	各派
10日	鈴鹿バルーンフェスティバル2009開会セレモニー(議長) 第23回ふれあい広場鈴鹿(副議長)
12日	鈴鹿市消防団神戸分団長褒章受章祝賀会(議長)
13日	広報
14日	東海市議会議長会支部長会議・第245回東海市議会議長会理事会(議長)
15日	議会改革特別委員会
19日	生活産業委員会
30日	第60回北勢5市議会懇話会(正副議長)

11月	
17日	地方分権推進全国会議(議長)
17~18日	議会運営委員会行政視察(栃木市、会津若松市)
18日	全国市議会議長会第177回理事会及び第87回評議員会(議長)
19日	総務委員会、商工優良従業員表彰式(副議長)
20日	各派、議運
22日	加佐登地区農芸祭(議長)
26日	三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会(議長)
27日	第32回鈴鹿市社会福祉大会(副議長)
30日	本会議、総務委員会、議運、各派

11月	
1日	第17回鈴鹿市民剣道大会(副議長)
2日	各派
8日	東京交流会及びシティセールス特命大使委嘱式(議長) 第42回鈴鹿市美術展表彰式(副議長)
9日	玉垣幼・小あんしんみまもり隊出発式(議長)
10日	各派、全協、議員研修会
11日	議会改革特別委員会、文教福祉委員会
14日	安全・安心フェスタすずか開会式(議長) 交通安全図画・ポスター表彰式(議長) 防火ポスター表彰式(議長)
15日	健康展と救急医療シンポジウム(副議長)
16日	議員懇談会、建設水道委員会、生活産業委員会

12月	
6日	障害者福祉フォーラム三重 第55回三重県身体障害者福祉大会(議長)
7~11日	本会議
10日	議運、各派
11日	予算決算委員会
15日	文教福祉委員会(分科会) 建設水道委員会(分科会)
16日	総務委員会(分科会) 生活産業委員会(分科会)
18日	予算決算委員会、議会改革特別委員会
20日	第12回鈴鹿シティマラソン(議長)
22日	議運、各派
24日	本会議、議運、広報



## 市政研究会 水谷 進議員



- 1 防災について  
(1) 火災の増加に対する対応について  
(2) 市民会館について  
(3) AEDについて
- 2 自主防災隊について  
(1) 自主防災隊の現状について  
(2) 自主防災隊の連携について
- 3 神戸城について  
(1) 修復と今後の対策について  
(2) 改修計画のその後について

質問1(1) 放火(疑いを含む19件)への対応は。

答弁1(1) 家庭や自治会などにおいて放火されないようなまち作りの環境を関係機関とともに呼びかける。

質問1(2) 火災騒動があった市民会館の対策は。

答弁1(2) 会館職員及び防災センター警備員が即座に対応できるよう改善を行いたい。

質問1(3) AEDを一括管理出来ないか。

答弁1(3) 確認の上、総務部と保健福祉部で趣旨に合うよう会議を行い、対応を考える。

質問2(1) 自主防災隊の無い地域への対応は。

答弁2(1) 地域の防災力の重要性を周知していく。

質問2(2) 自主防災隊の連携に対する対応は。

答弁2(2) 各地域より相談があれば対応していく。

質問3(1) 急いで落石箇所の修復をしてほしい。

答弁3(1) 有識者立ち会いの下、早急に修復する。

質問3(2) 石垣の膨らみの安全確認のその後は。

答弁3(2) 専門家に意見を聞き対策を講じたい。

## あくていぶ21 伊藤 健司議員



- 1 成年後見制度利用支援と権利擁護
- 2 小規模作業所の新体系移行について
- 3 不妊治療と不育治療支援について

質問1 成年後見制度利用支援と権利擁護の取り組みは。地域自立支援協議会に権利擁護部会を設置してはどうか。権利擁護の総合的なサポートセンターの設置について、どのように考えているのか。

答弁1 市長申立ては19年度および20年度各1件、本年度は2件の申立てをしているが申立て費用助成の該当者はない。権利擁護事業は鈴鹿市社協が実施しており本年11月末現在で84名の利用。権利擁護部会については3障がい及び就労部会の中で取り組んで

いく。サポートセンターの設置は「権利擁護のまちづくりネットワーク会議」での意見を聞きながら今後の検討課題としていきたい。

質問2 現在の本市における小規模作業所の法定施設への移行についてはどんな方向性を持っているか。

答弁2 現在の4作業所について、開設当初から障がいの重い方の通うけやき・さつきホームは適正なサービス事業に転換するよう検討を進めている。残り2作業所は移行体制づくりの指導助言と法人格への整理の必要性もあわせて早急に方向性を定める。

質問3 不妊治療と不育治療への本市の支援は。

答弁3 不妊治療は国と本市の助成額を合わせ、年40万円で通年5年間を助成。本年度は既に79人の申請があった。不育治療については、将来さまざまな課題が解消された時点で支援を検討していきたい。

## あくていぶ21 森 喜代造議員



- 1 高齢者施策について  
(1) 介護予防について  
(2) ひとり暮らしについて  
(3) 公民館活動について  
(4) 軽スポーツの普及促進について
- 2 平野三日市線について  
(1) 現在の進捗状況及び今後について

質問1(1) 社会参加できるような支援策はあるか。

答弁1(1) 在宅介護支援センター等に委託し、転倒骨折予防教室をはじめ、栄養改善教室、認知症予防教室を実施している。実施回数は408回で参加人数は8,528名である。その他に口の健康教室も開催している。

質問1(2) 安否確認はされているのか。

答弁1(2) 民生委員の方が戸別訪問し、地域で支援できるように「災害時要援護者台帳」に登録する取り組みをしている。また、緊急通報システム導入の助成を行っている。

質問1(3) 市内公民館のサークル数と利用状況は。

答弁1(3) 740のサークルが開催され、茶道や華道、囲碁のほか太極拳や健康教室に人気がある。

質問1(4) 地域の取り組みと健康遊具の設置は。

答弁1(4) 各種健康スポーツ教室では22回の教室を実施し、仲間との交流を通じ健康増進を図る。又街区公園の遊具設置は難しいが更新時に検討したい。

質問2(1) 未買収地及び工期予定、予算の確保は。

答弁2(1) 用地の調印はされ、22年度は本線車道及び歩道の工事を実施する。予算も優先的に努める。

## 日本共産党 森川 ヤスエ議員



- 1 保育所入所について
- 2 消防体制について

質問1 鈴鹿市では、育児休業を取得すると年度途中でこどもを退所させてしまう。折角整備された育児休業法が、逆に運用され、細切れに入所、退所を強いることは、こどもの友達関係や保育所を通じた社会生活を一方的に奪って、こどもの心を傷つけ保護者に新たな苦勞を強いるものである。保育所入所基準は、育児休業法の趣旨を生かす方向で改善をするように求める。個別対応はこどもの友達関係を壊したくない場合も認めるべきである。

答弁1 5歳、4歳と入所を拡げてきた。3歳以下は保護者や同居家族の健康状態等の諸事情による個別対応である。3歳以下の問題も今後は引き続き検討していく。

質問2 鈴鹿市の人的消防力は全国平均より低く、火災出動時消防自動車に本来は4人又は5人乗車すべきところ、2人・3人乗車を余儀なくされている。せめて全国平均まで増やして2人乗車をなくすよう早急に改善すべきである。

答弁2 全国平均より低く増員が必要と考えている。消防力の整備指針によると300人が必要となる。2年前の2人乗車率はほとんど変化なく横ばい。当面200人を目標に増員を図っている。

## 日本共産党 石田 秀三 議員



### 1 市立幼稚園の統廃合について

**質問1** 幼稚園再編整備委員会の答申は、中学校区ごとに1か所に統廃合するとしているが、なぜ中学校区なのか。①幼児の生活圏は広くても小学校区程度である。②私立幼稚園や公私立保育園は、中学校区と関係なく各地から幼児を集めているのに、公立幼稚園の幼児だけを中学校区で統合するのは無理があり、「保幼小中の連携」といっても条件がない。③保育園は入所条件があり、幼稚園が廃止されても近くの保育園には入れず、行く所がなくなる。再編整備計

画に当たっては、関係者、地域、特に廃止対象園の声を聞くことを求める。

**答弁1** ほとんどの幼稚園で定員を下回っている状態があり、適正規模の集団で教育を行う人数を確保するためには、広い範囲で園児募集を行う必要がある。どの中学校区にも最低1か所は幼稚園があるようにする。また義務教育終了までの保幼小中の連携を、中学校区を単位に強化する。答申を受けての再編整備計画策定に当たっては、市民の要望を聞き、地元に入って丁寧に説明していく。



市立幼稚園

## 緑風会 彦坂 公之 議員



### 1 負担金の見直しについて

**質問1** 国・県などが出資する諸団体への参加、加盟等に係る負担金について問う。諸団体への負担金について、その必要性の再検討、負担金の内容の再確認は行っているか。政権交代による変化などもあり、精査すれば不要なものがあるのではないか。

**答弁1** 予算総額、559億9,230万円のうち負担金は、60億を超え、10.8%を占めている。これら負担金の中には、県営事業負担金や、鈴鹿亀山地区広域連合負担金などの大きな額のものから、研修負

担金などの少額のものまで、様々なものが計上されている。このうち、諸団体への参加、加盟等に係る負担金については、およそ4,500万円の計上となっており、対象団体の数は約180余りである。負担割合についても、均等割、人口割など、団体により、個々に決められている。これらの負担金の必要性や、その内容の確認については、関係部署において、十分に検証を行い、予算計上しているところであるが、市の財政状況が、非常に厳しいものとなっており、法令等で負担を義務付けられている経費についても、過度の負担となっていないか、諸団体への負担金については、その維持運営のために、漠然と支出していないか、政権交代などの状況変化により、不要となっていないかなど、今一度検討を行い、負担金の必要性や、その内容の確認について、検証を行いたい。

## あくていぶ21 竹口 眞睦 議員



- ### 1 新型インフルエンザ対策について
- (1) 市民に事実を早く公開すべき
  - (2) 必要ワクチンは充分足りてるか
  - (3) 幼小中高での罹患状況は
  - (4) 新型インフルエンザ蔓延の対策

**質問1(1)** 一番大事なのは事実を即座に公開する。

**答弁1(1)** 市民への情報発信や啓発はホームページ、すずかボイスFM、広報すずか、折込チラシなどの媒体を用い、迅速に行っている。

**質問1(2)** 必要なワクチンは充分足りているか。

**答弁1(2)** 厚生労働省が人口比率に応じて配分量を決定。一回目医療従事者用7,448人分をはじめ11月までで四回、合計133,688人

分が配分された。配分量は各医療機関の申請の約3割程度で、不足している。各市町への配分量は公表されていない。

**質問1(3)** 幼・小・中・高での罹患状況は。

**答弁1(3)** 二学期以降の状況で9月は毎日数名程度、10月は特に中学生の欠席が急増して938人。学校行事集会等は延期。早期受診や自宅療養対策で一時鎮静化。11月末再び急増し742人。市内5高校の欠席者は92人である。

**質問1(4)** 新型インフルエンザ蔓延対策について。

**答弁1(4)** 接種費用助成。国の示した優先順位者のうち、医療従事者等を除く対象者に助成する。対象者のうち、低所得者には全額、それ以外は1,000円を助成。応急診療所は流行が沈静化するまで、土曜の夜間、日曜の昼間夜間は医師二人の二診体制で診療を行う。

## 公明党 伊藤 寿一 議員



- ### 1 薬物乱用防止について
- ### 2 道路補修工事について
- (1) 積み上げ方式のあり方について
  - (2) 側溝との段差解消は

**質問1** 10年前、一般質問で薬物乱用防止キャラバンカー招致を提言したが、10年間で中学校に1回しか招致していない。中学時代の3年間に必ず1度はキャラバンカー体験をすることが重要だと思うが。



薬物乱用防止キャラバンカー

**答弁1** キャラバンカーは全国に8台。中部は岐阜に1台待機。平成22年当初に申し込みをし、中学校に招致していきたい。

**質問2(1)** 1度2度3度と舗装を重ねていくと、道路面がかまぼこ状態になり、高さが15~20cmにもなると、車や人の通行にも大へん危険である。市内に多く見られる。この現状をどう考えているか。

**答弁2(1)** かまぼこ道路の補修は、現地に合った安全な道路形態を維持できるよう効率的に順次改善を行い、歩行者の安全確保を図っていく。

**質問2(2)** 道路と側溝の段差箇所が市内には多くあり危険である。

**答弁2(2)** 自治会からの要望を受け、人家密集区域では側溝の改良と蓋かけを合わせ、生活道路の改良工事を実施し段差の解消を図っている。

## 無所属クラブ 杉本 信之議員



- 1 10月7日の台風18号について
- 2 F1グランプリについて
- 3 まちづくり条例について

**質問1** 職員及び消防団の対応と市民の避難状況はどうか。又、被害状況はどうだったか。

**答弁1** 50年前の伊勢湾台風と同じコースであったので、各災害対策本部長に早急に準備するように指示をした。市職員209名、支部職員49名で対応した。消防団は7日の広報活動に120名、8日は404名が各地区で対応した。市民センターに9名と小中学校に56名が自主避難した。床上浸水は5地区で18戸であり、公園内の倒木等36か

所の土木施設の被害で、人的被害はなかった。

**質問2** 職員の動員体制はどうだったか。又、協議会の取り組みと成果はどうだったか。

**答弁2** 協議会本部や道路パトロール等に21名、消防職員延べ88名が救護に当たった。鉄道利用やインターチェンジの分散利用をPRした。結果大きな混雑はなかった。観客は前回の36万人から21万人に減少したため、経済効果は前回よりは下回ると思われる。来年も支援活動を充実させたい。



F1グランプリ

**質問3** まちづくり条例はいつ頃提案されるか。

**答弁3** 年度内に予定している。内容については答えられない。

## 無所属クラブ 板倉 操議員



- 1 不燃物リサイクルセンター2期事業  
(1)進捗状況について  
(2)容器包装プラスチック処理施設の安全性について
- 2 臨時職員の労働条件について

**質問1(1)** 当市で初めてのPFI方式での事業であり、民間業者に設計建設、運営管理を約128億で21年間まかせ毎月市が買い取る方法である。長期のため利子負担等の後年度負担の増大や隠れ借金を抱える危険、20年後まで市民サービスが確保されるか確認できない等の疑問や不安があるので反対してきた。しかし議決した事業であるので今後は事業契約書にそってチェックしていく。生活環境影響調査、協議会の設置、近隣対策、建中モニタリング等契約書

の約束事の実行、確認についての進み具合はどうか。

**答弁1(1)** すべて契約書にそって進み、特に事業周辺地域の環境調査は今後も年1回は実施し、近隣対策は特に重要と考え事業者にも協力を得ている。

**質問1(2)** 寝屋川市では容器包装プラスチック施設が原因と思われる健康被害が出ている。化学物質である廃プラを扱う施設の安全性はどうか。

**答弁1(2)** 各自治体によって異なる方法が用いられている。安全性が第1と考え進めている。

**質問2** 400人弱の臨時職員は、低賃金であり10年以上の勤務の人もいる。一律ではなく工夫をして待遇改善をし、徐々に下を上げることが重要だ。

**答弁2** 理解はするが少しずつ考えたい。

## 公明党 池上 茂樹議員



- 1 子ども手当で増税か
- 2 救急医療情報キットについて
- 3 耐震シェルターについて
- 4 緊急速報「エリアメール」について

**質問1** 扶養控除の廃止による増税額は。

**答弁1** 夫婦と15歳以下の子ども2人の世帯で給与年収700万円の場合、所得税、市県民税が17万6千円の増額だが、子ども手当62万4千円支給になる。

**質問2** 救急患者の搬送時間の短縮や医療情報・緊急連絡先も把握できる「救急医療情報キット」がある。市民の生命を守る観点から導入してはどうか。

**答弁2** 患者の情報を速やかに収集でき、かかりつけ医療機関等の

情報が得られることから病院選定に要する時間の短縮に有効。

**質問3** 地震時に迅速な非難が困難な高齢者や身体に障がいのある方の安全を確保できる「耐震シェルター」がある。「耐震シェルター」事業の導入は。

**答弁3** シェルターの導入を前向きに検討したい。

**質問4** 災害情報に関して、メールアドレスを登録する必要がなく、市独自の情報を配信でき、料金が掛からないエリアメールがあるが、導入の考えは。

**答弁4** 本市でエリアメールが受信できる端末契約数は約39,900台、災害時にエリアメールを活用すれば効果的であるため導入を検討したい。



耐震シェルター

## 政友会 今井 俊郎議員



- 1 鈴鹿シティマラソンについて  
(1)多くの組織の協力体制は  
(2)問題点と今後の方向性は
- 2 鈴鹿市の交通安全対策について  
(1)交差点のカラー舗装化を

**質問1(1)** 開催には多くのスタッフが必要だが運営スタッフの確保はできているのか。

**答弁1(1)** 今年の大会は鈴鹿サーキットの周回コースとしており昨年より少ない約400名ほどで運営する。コース上の交通事故等の心配もなく兼務を行いながら安全に開催する。



交差点の危険箇所

**質問1(2)** 他市の大会では市民とランナーがふれ合える公道をコースに取り入れているが今後のコース設定ではどのように考えているのか。

**答弁1(2)** ランナーが沿道で受ける市民からの温かい応援に励まされながら走ることも楽しみとしていると思う。今大会終了後に参加者の声も聞きながら実行委員会にて検討していきたい。

**質問2(1)** 交差点における事故多発箇所や危険箇所において道路改良などに費用や時間を費やすより即効性のあるカラー舗装化を進めるべきでは。

**答弁2(1)** カラー舗装により道路の情報を目で運転者に伝える方法は効果のあるものと考え。今後とも地元要望や交通安全協会・警察等関係機関との協議により、現地にあった安全対策を進めていきたい。



## 市政研究会 中村 浩議員



- 1 Cバスについてのパート11
- 2 北長太川の整備について

**質問1(1)** Cバスの運行費用に対して国及び県の補助金はいくらか。国の補助金が減額された場合は市税投入額は増額するのか。

**答弁1(1)** 県からのみ1,600万円である。国からの補助はないので、市の投入額は増額されない。

**質問1(2)** グループインタビュー調査は公開すべきではないのか。非公開にする根拠はどこにあるのか。

**答弁1(2)** 調査そのものの内容が非公開にすべきものであったということではなく調査の性格や、実施目的に鑑みたものであり、結果は

公表している。

**質問1(3)** 地域公共交通会議の日程について議会の日程と重複しているのはなぜか。議員の傍聴を妨げているのではないか。

**答弁1(3)** 会議運営上から構成員の日程を優先せざるを得ないためである。

**質問2** 樋門設置の経過と現状は。また樋門に不具合があるようだがその原因と今後の対策は。不具合に対し原因者へ2億円の損害賠償を求めるべきでは。

**答弁2** 関係者等の意見を総合的に判断し施工。平成18年1月に供用を開始。波の影響が予想以上に大きくゲートが閉まる際の衝撃音が大きく、その振動でゲートのボルトが脱落したのが主な原因。平成19年度に調査検討をし、その検討資料を基に業務を委託。今後は、それらの結果を踏まえ検討したい

## 市政研究会 市川 哲夫議員



- 1 地方分権と地域主権について
- 2 市の土地活用について

**質問1(1)** 政権交代により、財源にも大きな変化があると思うが、どのように対応するのか。

**答弁1(1)** 平成22年度の国の予算編成など、不透明な状況である。国や県の動向を注視し、迅速な対応がとれるよう努力し、自主財源の確保を検討する。

**質問1(2)** 深刻な雇用状況下、国は様々な緊急雇用対策を挙げているが本市の現状と対策は。

**答弁1(2)** 国の様々な制度を企業や離職者等に利用いただけるよ

う情報提供に努め、市内や地域内での雇用創出を図り、三重労働局、鈴鹿公共職業安定所、三重県などと連携し、雇用支援に取り組みたい。

**質問1(3)** 国の諸制度の見直しに対する市としての考え方は。

**答弁1(3)** 地方交付税制度との整合性にも十分留意して制度設計を行うことを要請している。本市が負担を求められる国直轄事業はないが、分権型社会における国と地方の関係のあり方や国直轄事業のあり方についての議論を見守り、情報収集に努める。

**質問2** 白江土地地区画整理事業の経緯・進捗状況は。この事業の土地は付加価値が高い。将来像は。

**答弁2** 施行面積約25.7ha、総事業費約44億円、都市計画道路5路線を含む整備。平成20年度末の進捗率は約35%。白子駅の公共交通拠点の利便性を活かし、名古屋通勤圏を意識した住環境の整備に努める。

## 市政研究会 大西 克美議員



- 1 死亡届に関する許可書の発行について
- 2 観光行政の推進について

**質問1** 土・日・祝日の死体埋火葬等の許可証交付をなぜ民間に委託したのか。嘱託職員などを配置するべきでは。

**答弁1** 行政の業務の民間委託化の流れの中で委託し、現在、土・日・祝日の死亡届の受付と許可証の発行を警備会社とシルバー人材センターが行っている。是正する必要がある、早急に改善していきたい。

**質問2(1)** フィルムコミッションの現状と成果、また今後は。設立するなら民間より行政主導型が適切と考えるがいかがか。映画製作会

社等への鈴鹿市の観光PRの考えは。

**答弁2(1)** 他市等のフィルムコミッションの活動状況を調査していくが、民間主導での設立が望ましいと考えている。ロケ地の照会に対する情報提供やテレビ番組等への情報提供を行っている。

**質問2(2)** 観光集客の増加策の一つとして、F1コレクションホールの建設を重要と考えるがいかがか。

**答弁2(2)** モータースポーツのまちを象徴する施設で、新たな観光資源として集客になることは認識。ただ、経済不況が続く中では大変厳しい状況である。

**質問2(3)** 観光客を増加のため、観光PR専門チームの設置やモデル観光コースや市内外への情報発信は。

**答弁2(3)** 職員1名を増員し組織を強化。民間との連携も図っている。新しい観光コースも企画発信中。

## すずか倶楽部 後藤 光雄議員



- 1 市税滞納の徴収対策について
  - ・市税滞納に対する取組みについて
  - ・現在の取組みと今後の取組みは

**質問1(1)** 平成20年度一般会計決算の歳入総額551億6,999万円の内、市税収入総額は約332億円あるが、その市税の内、都市計画税、軽自動車税、固定資産税、市県民税の収入未済額は。

**答弁1(1)** 平成20年度は23億1,969万1,839円。

**質問1(2)** 滞納されている現年分8億4,700万円及び滞納繰越分14億7,200万円の徴収取組みは。

**答弁1(2)** 督促状、催告状の発送。職員の臨戸、高額滞納者は三重地方税管理回収機構に回している。

**質問1(3)** 督促状・催告状の発送経費は。

**答弁1(3)** 文書発送には12万5,100件、681万1,937円かかっている。

**質問1(4)** 収納率を上げる為の今後の取組みは。

**答弁1(4)** 22年度に軽自動車税のコンビニ収納を23年には市県民税、固定資産税、国民健康保険税についてもコンビニ収納する。その他の方法も研究する。

**質問1(5)** 収納窓口、市役所を土日開庁して納税機会を増やし、市職員全員での滞納者への臨戸督促等徴収を上げる為の全庁的な対応が出来ないか。

**答弁1(5)** まずは現年度分の現年度中の徴収率を上げる為の工夫に努めたいし、滞納繰越分についても納税の公平・公正を期す為に、滞納者との交渉を密にしてしっかりと徴収業務に努めたい。



## すずか倶楽部 中西 大輔議員

- 1 海岸線への取り組みについて
- 2 休日のスポーツ外傷への対応について

**質問1(1)** 海岸漂着ゴミについて、非常に問題と考えるが、市はどのような取り組みを行っているのか。

**答弁1(1)** 海岸漂着ゴミについては、昨年あらたな法律が制定され、海岸管理者である三重県が行うこととなっている。市としても三重県を中心として地域住民や各団体の参画を得ながら海岸環境の整備に協力していきたい。

**質問1(2)** 深夜の花火などの迷惑行為に対して、市はどのような取り組みを行っているのか。

**答弁1(2)** 深夜の花火などの迷惑行為は、三重県条例によって取り締まることはできるが個人のマナーやモラルに訴えるところも多分にあり、このような行為については地元自治会、警察、三重県とともに本市の関係各課が相互に連携を図り総合的に対応をしていくことが重要であると考えている。

**質問2** 休日の昼間におけるスポーツなどでの受傷に対して、市内整形外科医との協力で、受診できる体制を構築してはどうか。

**答弁2** 休日の運動競技事故にかかる救急出動状況を見てみると、ほとんど市内医療機関へ受入れいただいております。市内の各医療機関が適切に対応していただいていると考える。何れにしてもスポーツ競技等による傷病については、応急処置と早期の救急搬送が重要な要素であると考えている。



## すずか倶楽部 南条 雄士議員

- 1 市民奉仕と3UP4DOWN
- 2 市民奉仕とニコチン依存
- 3 公園管理に見るル・マン市との関係

**質問1** 市役所のエレベーターを使う市民を待たせないことも市民奉仕の一つである。職員が作法を覚え、なるべく階段を使い、回転率を上げることによって、市民奉仕と職務効率を向上させるべきである。

**答弁1** 市民に対するおもてなしの心での接客に取り組む。上り3階下り4階分は階段を使う「3アップ4ダウン運動」についても、意識だけでは無く、実際に行動する職員の育成に努める。

**質問2** 例えば、1回10分1日6回勤務中の喫煙に時間を費やす職員は、年間1.5ヶ月分も市民奉仕を放棄している。勤務中は禁煙にして、

喫煙を我慢できない職員にはニコチン依存症の治療を指示するべきである。

**答弁2** 勤務時間中の喫煙は、短時間・少人数で、午前2回午後2回までと通知している。今後も、服務規律を遵守した節度ある喫煙行動を徹底するように厳しく指導する。社会の喫煙に対する意識が今後さらに変化すれば、職務中の全面禁煙も考えられる。また、禁煙支援のための保健指導も行いたい。

**質問3** フラワーパーク、ル・マン広場の写真陶板がボロボロのまま放置されており、ル・マン市との直接交流も長年行われていない。このままで良いのか。

**答弁3** 協定20周年の来年に、ル・マン市長を迎えた記念事業を検討している。写真陶板については、周辺の玉石を撤去した上で記念事業までに全て修復する。



## 公明党 森 しず子議員

- 1 鈴鹿市の子どもの読書活動
- 2 ヒブワクチン等への公費助成について

**質問1(1)** 子どもの読書環境や読書活動の経費と現状。

**答弁1(1)** 毎年、蔵書を更新・充実し、H18年度からは学校図書館巡回指導事業を始め、H19年度からは司書教諭を全ての学校に配置し、ボランティアの方々にも支援いただいている。

**質問1(2)** 予算配当と学校の蔵書数について、全国と比べてどうか。

**答弁1(2)** 学校の図書購入費は小中学校ではH19～21年度とも約2,163万円で基準財政需要額に対する予算措置率は全国平均には達していない。

**質問1(3)** 蔵書の充実には予算が必要だが増額はどうか。国の事業仕分けで読書活動推進事業の予算が廃止になり国に対して強く必要性を申し入れてほしい。

**答弁1(3)** ふるさと雇用再生事業の中で11月から市と契約した業者11名を雇用し、市立県立図書館と連携、各学校の希望に応じて配本業務等を行う。

**質問2(1)** ワクチンで防げる病気から子どもたちの生命と健康を守るため公費助成定期接種はどうか。

**答弁2(1)** ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンは定期接種化されていない。費用助成は今までは考えていない。

**質問2(2)** ワクチン供給量が確保できない点はどうか。

**答弁2(2)** ワクチンの供給量に限りがあり全国のワクチン流通に関して製造元が流通までの管理が必要で今しばらく状況を見守る時間をいただきたい。



## 政友会 佐久間 浩治議員

- 1 入札制度について
- 2 土地開発公社の土地利用について
- 3 鈴鹿市消防新庁舎の建設について

**質問1(1)** 入札における市内業者の受注について。

**答弁1(1)** 市内業者が施工可能な工事や取り扱いが可能な物品等については、出来る限り市内業者へ発注することとしている。

**質問1(2)** 入札時に設計図書の購入証明書の提出を求めている理由は何か。

**答弁1(2)** 参加者が不特定である条件付き一般競争入札については、入札担当部署での閲覧により内容を確認した上で、本市と「設計図書の販売に関する覚書」を交わした市内印刷業者から設計図

書を購入し、入札書郵送の際に確かに設計図書に基づき適正に積算したという証明として「設計図書購入証明書」の同時提出を求めている。

**質問2** 土地開発公社の保有地は事業進展がなく管理しているだけでなく有効活用してはどうか。

**答弁2** 具体的な活用予定がない土地は、土地開発公社と協議しながら、公売等による処分も進めていくべきであると考えている。

**質問3** 消防庁舎建設に向けての事業実施と財源確保について。

**答弁3** 市の財政状況も厳しい中ではあるが、市民の安全安心ということからも、消防庁舎建設事業については、庁舎建設基金を活用しながら、前向きに取り組んでいきたいと考えている。

# 議決一覧表(12月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第 76号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 77号	鈴鹿市職員給与条例等の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第 78号	平成21年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議案第 79号	平成21年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議案第 80号	平成21年度鈴鹿市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議案第 81号	平成21年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第 82号	平成21年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第 83号	鈴鹿市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の制定について	原案可決	賛成多数
議案第 84号	鈴鹿市行政組織条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 85号	鈴鹿市立公民館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 86号	鈴鹿市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 87号	鈴鹿市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第 88号	北勢公設地方卸売市場組合の解散に関する協議について	原案可決	全会一致
議案第 89号	北勢公設地方卸売市場組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決	全会一致
議案第 90号	財産の無償貸付について	原案可決	全会一致
議案第 91号	工事請負契約について	原案可決	全会一致
議案第92号~94号、97号、100号~111号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第95号、96号、98号、99号	指定管理者の指定について	原案可決	賛成多数
議案第112号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	原案可決	全会一致
委員会発議案第2号	自主的な共済制度を保険業法の適用除外とする意見書	原案可決	全会一致
議員発議案第7号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書	取り下げ	—
請願番号	件名	議決内容	
請願第 6号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書	不採択	賛成少数
請願第 7号	改正国籍法の厳格な制度運用を求める意見書の提出を求める請願書	不採択	賛成少数
請願第 8号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書	不採択	賛成少数
請願第 9号	自主的な共済制度を保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求める請願書	採択	全会一致

## 2月・3月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

2月	18日(木)	10:00	議会運営委員会	3月	12日(金)	10:00	本会議(質疑)(本会議終了後予算決算委員会)
	25日(木)	10:00	本会議(開会)(本会議終了後議会運営委員会)		15日(月)	10:00	常任委員会〔文教福祉・建設水道・分科会〕
3月	4日(木)	10:00	本会議(代表質問)		16日(火)	10:00	常任委員会〔総務・生活産業・分科会〕
	5日(金)	10:00	本会議(一般質問)		17日(水)	13:00	常任委員会〔文教福祉・建設水道・分科会〕
	8日(月)	10:00	本会議(一般質問)		18日(木)	10:00	常任委員会〔総務・生活産業・分科会〕
	9日(火)	10:00	本会議(一般質問)		23日(火)	10:00	予算決算委員会
	10日(水)	10:00	本会議(一般質問)		25日(木)	10:00	議会運営委員会
	11日(木)	10:00	議会運営委員会		26日(金)	10:00	本会議(閉会)(本会議終了後全員協議会)

**市民のみなさんのご意見をお寄せください!** 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 鈴鹿市議会事務局

市議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の市議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

TEL 059-382-7600 FAX 059-382-4876

メール giji@city.suzuka.lg.jp

### 会議録のお知らせ

代表質問や一般質問、議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。12月定例会の会議録は、3月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

### 傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会、議会運営委員会および全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話382-7600

### テレビ中継のお知らせ

本会議の代表質問や一般質問を、CNSテレビ(アナログ20ch・デジタル122ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。